



二塚小だより

平成27年6月

学校だより

高岡市立二塚小学校

ひと雨ごとに木々の緑が色濃く美しさを増しています。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。



運動会という大きな行事を終えて、子供たちは、心も体も一回り大きくなったようです。学習参観日の全校集会「元気モリモリ集会」でも、たくさんの人の前で大きくパフォーマンスする委員会の子供たちや元気に歌ったり踊ったりする子供たちの姿に力強さを感じました。

また、校舎南側の花壇では、創校140周年記念事業の一つとして親子で植えた花苗がすくすくと育っています。色とりどりの花の生長を楽しみに、みんなで大切に育てていきたいと思っています。

－挨拶は人と社会をつなぐ接着剤－

本校では、今年度もアクションプランに「挨拶」を取り上げています。児童会を中心としたあいさつ運動に加えて、授業の始めと終わりの挨拶や「ありがとう」等、感謝の気持ちを伝える言葉も大切にしたいと思っています。

「挨拶」という言葉は、近づくという意味の「挨」と、すりよるという意味の「拶」から成り立っており、人の心と心が近づくことを表しているそうです。

朝、交差点で立っていると、私の存在に気付いた子供は、「おはようございます」と挨拶をしてくれます。でも、友達との話に夢中だったり、うつむいてリーダーの後ろを黙々と歩いている子供は、そのまま通り過ぎていきます。「〇〇さん、おはよう」と声をかけると、はっと気付いて、挨拶を返してくれる子供もいます。挨拶は、「あなたがそこにいることをわたしは知っていますよ」と、相手の存在を大切に思う心の表れでもあると思います。

また、朝の挨拶だけでなく「さようなら」「すみません」「失礼します」「いただきます」「ありがとう」等の挨拶もあります。中でも「ありがとう」は、ちょっとした相手の行動や心遣いに気付き、感謝の気持ちを伝えるすてきな言葉です。

さて、家庭において私たちは、「ありがとう」等の挨拶の言葉をどのくらい使っているでしょうか。「今更恥ずかしくて・・・」とか「わざわざ言わなくても・・・」と言う声が聞こえてきそうです。はじめはぎこちないかもしれませんが、慣れるとなかなかいいものです。日頃から夫婦や親子で挨拶を交わしている家庭の子供は、外でもちゃんと挨拶をするようになると言われていきます。

私たちは様々な人との関わりの中で支え合って生きています。握手が一人ではできないように挨拶も一人ではできません。子供たちには、人と社会をつなぐ接着剤ともいえる挨拶をしっかりと身に付けて欲しいと思います。

家庭で、学校で、地域で、目と目を合わせ、心を通わせる気持ちのよい挨拶のできる二塚っ子を目指したいと思います。

今後の予定(7月)

7. 4(土) AED講習会(PTA)

ふるさとクリーン作戦

5(日)市民体育大会(水泳)

6(月)～10(金)14才の挑戦(芳野中学校)

17(金)地区別児童会

23(木)保護者会・給食終了

24(金)1学期終業式

25(土)夏季休業開始

「贈りたい 未来の自分に きれいな歯」

養護教諭 内島 和美

子供たちは今、とても元気です。おそらく、自分の健康に何の不安もないのでしょう。けれども、次のようなアンケート結果があります。「75歳の人に聞きました。若い頃にやっておけばよかったと思うこと、第1位『歯の定期検診』」。長寿の現代、歯を長持ちさせることはとても大切です。

6月の学習参観、2年生は学級活動で「むし歯にならないためのおやつとり方」を学習しました。後日、家庭において「するめいかやみかんをおやつに食べると美味しかった」「太陽を浴びて育ったそのままの形のものをおやつに取り入れていきたいと思う」と生活に生かす姿が見られました。



2年・学級活動



元気モリモリ集会

また、学習参観後、6限には、歯をテーマに児童集会を実施しました。「かむことの大切さ」や「むし歯の原因」等について学びました。子供たちは「一口30回かむようにしたい」「むし歯や歯に汚れがあるときは、しっかり治さなければならない」等、歯の健康に目を向ける機会となりました。また、発表した子供は、『大きな演技、大きな声を心がけると、自然に後ろの席の人まで（歯みがきの大切さを）伝えることができた。とてもうれしかった』と感想に書いていました。

これからも、養護教諭として、子供たちが学ぶ楽しさ、伝える喜びを感じる機会をつくっていき、「未来の自分にきれいな歯、元気な体」を贈ることにつながることを願っています。

はじめの一步は、「自分にできることを考えてみる」から

児童会担当 上田 伊通子

今年度の二塚っ子児童会のスローガンは「あいさついっぱい、思いやりいっぱい、笑顔あふれる二塚小学校にしよう」です。「まずは自分たちからあいさつを」ということで、運営委員が毎週火曜日の朝、玄関前に立って登校する子供たちに「おはよう！」と声をかけています。

第2回の代表委員会では、運営委員会からの提案で「みんなが笑顔になる休み時間の過ごし方を考えよう」を議題に掲げて話し合いました。学級代表からは「下学年に遊び方を教えてあげたらいい」「遊びにどんどん誘ってみたい」など、友達の輪を広げるという意見が出ました。また、運動委員会委員長からは「どの学年も楽しく安全に遊具を使えるように、ルールづくりに取り組んでみます」という提案も出ました。短い時間でしたが、真剣な表情で考えている子供たちが、とても頼もしく感じられました。

「自分には何ができるかな」「自分たちなら何ができるかな」と、一人一人が考えるところから、よりよい学校をつくることが始まります。児童会ではこれからも考える場を大切に、よりよい学校づくりを進めていきたいと思っています。

安全な遊びを・・・

校区にある道路には、たくさんの自動車が通行しています。場所によっては、交通事故が起こる危険度がとても高い所もあり、常に、安全な行動を心がけなければなりません。

最近、ブレイブボードに乗って、公道を走っている児童がいるようです。事故の被害者になる可能性が高くなるだけでなく、加害者になることも考えられます。道路・歩道での使用はやめさせましょう。また、許可されている公園等での使用も、使い方によっては 周りの方に迷惑になることもあります。ヘルメットやサポーターを着用させたり、保護者の方が同伴したりされるなど、十分なお配慮をお願いいたします。

